

ごとう通信

第44号

平成16年8月1日

今年の夏は記憶に残る夏になりました。東京では39.5度という記録的な暑さ。当日は、午後から訪問診療だったのですが、診療室を出たとたん、両腕に痛みを生じるほどの熱さを感じました。翌日は午前中から訪問に出ているのですが、午後の数時間は朦朧（もうろう）としていた気がします（その記憶も定かでない）。おかげで顔は真っ黒。会う人会う人に「どこ行ったの？海？海外？」と言われていますが、正真正銘「新宿焼け」

です。

さて、今年のように暑い日が続くと身体はきついですね。熱



中症についてニュースで特集されていましたが、室内にいても発症することがあるようです。クーラーが苦手という方も多いでしょうが、うまく温度管理をしながら快適に過ごしましょう。

教養広場

ふれあいミニサロン「なごみ」の活動も充実してきました。中でも「夜サロン」は本当に楽しい会です（と言うよりも飲み会）。現在、夜サロンは「シネサロン」と「教養広場」の2つがあり、毎月第4金曜日の夜、酒を持ち寄って楽しんでいきます。

7月は第2回の教養広場として、ホームレスの自立支援活動をしている「スープレの会」という会で活躍する後藤浩二さんが来てくれました。彼とは今年の春に出会ったばかりな

のですが、「生き」という真剣に受け止めている姿に感激しました。

新宿という土地柄、

ホームレス

の方たちの問題は間近に感じてはいたのですが、どうしても他人事として避けていたように思います。しかし、一人の人間として接している後藤さんの姿に感激しました。

今回の教養広場でもう一つの発見がありました。ホームレスの問題は要介護高齢者、障害者、子供、在日外国人などとすごく似ているということです。おかげで、彼の活動が私たちのように高齢者に対する取り組みをしている者に対しても大きなヒントになりました。

こんな教養広場、またユニークな



映画「あしがらさん」出演の後藤君

「生き」ことを